

目次

はじめに 神奈川県立公文書館長 浜辺浩章

目次	I
1. 概要	1
(1) 始動	1
(2) 経緯	1
2. 作業	2
(1) 現地の作業	2
ア 出張の概要	2
イ レスキューの対象	2
ウ 旧矢作小学校での作業内容	2
(ア) ナンバリング	3
(イ) 状態判定・分別	3
(ウ) 写真撮影	3
(エ) 借用目録作成	3
(オ) 土砂落とし	3
(カ) カビ害の酷い文書の対処	3
(キ) トラック搬送	3
(2) 公文書館での修復作業	4
ア 修復手順の検討	4
イ 仕上がり規準	4
(ア) 策定の目的	4
(イ) 仕上がり規準の内容	4
(ウ) 乾燥状態の定義と実際	4
① 基準値	4
② 借用直後の水分率	4
③ 目標設定	5
④ 返却時の測定値	5
ウ 状態チェック	5
エ 修復処置の全体像	6
オ 基本処置	6
カ 特別処置	7
キ 処置の実行に際しての配慮	7

ク	効率的な作業の進め方の模索	7
ケ	2週間8日間を1サイクルとした進行	8
コ	グループ作業上の工夫	8
(3)	返却の仕様	9
ア	返却方法	9
イ	修復の仕様に関する文書の提出	9
(4)	作業環境への配慮	10
ア	粉塵対策	10
イ	作業するスペースと保管・乾燥スペースの分離	10
ウ	作業環境の測定	10
3.	体制と環境整備	11
(1)	人（レスキュースタッフの雇用）	11
ア	平成23年度「東日本大震災における被災公文書の修復支援事業」	11
イ	平成24年度「東日本大震災における被災公文書の修復支援事業」	11
(2)	器材・資材の調達	11
ア	運搬作業（被災公文書の移送作業）	11
イ	乾燥、除湿作業（湿った文書に対する乾燥作業）	11
ウ	ドライクリーニング作業（水を使わない泥、カビ等をクリーニングする作業）	11
エ	殺菌作業（かび等の殺菌）	12
オ	破損等修復作業（文書の破損等に対する和紙等による修復）	12
カ	製本・仕上げ作業（表紙の更新、綴じ糸による綴り）	12
キ	環境計測作業（被災公文書の水分、放射線量の計測及び作業空間の環境計測）	12
ク	記録作業（修復文書目録の作成、修復作業記録の作成、事業報告書の作成）	12
(3)	設備・スペースの用意	12
ア	作業スペースの確保	12
イ	作業環境・設備の整備	12
ウ	放射線測定	12
エ	繊維状粒子（アスベスト等）飛散状況調査	13
4.	活動の成果	14
(1)	借用簿冊の状態	14
ア	簿冊の基本情報	14
イ	被災公文書の劣化状態	14
ウ	被災公文書の修復で注意すべき素材	15
(2)	借用簿冊の内容	15
ア	内容分析	15
	（ア） 作成年度	15
	（イ） 保存年数	16

(ウ) 文書の主題（簿冊名に含まれるキーワード）	16
(エ) 部署名（作成原課）	17
イ 修復完了・返却した簿冊	18
5. 渉外関係	18
(1) 見学・視察	18
(2) マスコミ掲載	19
(3) 広告用制作物	20
(4) 成果発表	20
(5) 支援／アドバイス	20
■資料 1 陸前高田市役所行政文書レスキューの作業手順（たたき台）	21
■資料 2 修復が完了した簿冊の返却における仕様について（第 5 改訂版）	25
修復処置マニュアル	29
A 環境制御	29
B 金属部品除去	30
C 容器収納	33
D 乾燥	37
E 固着剥がし	40
F ドライクリーニングを始める前に	42
作業終了後	45
F ドライクリーニング	46
G 補修を始める前に	50
G 補修要否の見極め方	51
G 補修（繕い）	53
補修（糊差し）	59
H 加湿プレス	60
J カビ処置	62
K 封筒収納	66
L 綴じ直す前に	70
L 表紙交換・新調	72
修復前後の写真	76
参考資料 平成 24 年度 神奈川県立公文書館 公文書レスキュー活動報告会（平成 24 年 12 月 16 日開催）－東日本大震災被災文書の修復支援の記録－発表用スライド	